お客さまへのコンサルティング機能を発揮し、「地域密着型金融」をより一層推進してまいります。

Ⅰ．当行を取り巻く経済・金融環境

わが国経済は昨年末からの株価上昇や円高修正に伴う輸出産業の収益改善など景気は徐々に持ち直しの動きがみられるようになりました。奈良県を中心とする地元経済においても生産や雇用が持ち直しつつあるなど、総じて緩やかな回復基調で推移しています。

一方金融機関を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、グローバル化といった様々な構造変化のなか他業態も含めた競争の激化等により厳しい状況が続いています。

Ⅱ．創立80周年に向けて

このような状況のもと当行は来年6月の創立80周年に向けた「めざすべき姿」として掲げた長期ビジョン「さらなる企業価値の向上をめざして～地域とともに成長する銀行～」の実現に向け、最終年度を迎えた中期経営計画「ベスト・バリューNANTO」の諸施策に全役職員が一丸となって取組んでいます。

本計画を着実に遂行し、地域、お客さま、株主といったステークホルダーの皆さまとより強固な信頼関係を築き上げ、お客さまの満足と企業価値の向上に取組んでまいります。

1.「地域密着型金融の推進」・「営業体制の強化」

●地域密着型金融の推進

お客さまとともに成長し地域金融機関として永続的に発展していくためには「地域経済の活性化」が不可欠であるとの認識のもと、当行は地域密着型金融の推進に取組んでいます。

具体的には、お客さまの多様化するニーズにお応えすべくASIA業務グループ、支援・渉外グループ（法人ソリューション）、元気企業サポート室、企業サポート室等の本部専門セクションを立ち上げ「総合サポート体制」を整え、営業店と一体となって様々な「ソリューション（課題解決型）営業」を実践しています。

ASIA業務グループにおいては、これまで以上の成長・発展をめざしアジア地域へ進出されるお客さまへの支援を強化・充実させていくため、平成24年度には7つの外部機関と業務提携し、現在17の機関と強固な連携を結び、お客さまの海外進出を支援しています。昨年12月にはタイのバンコック銀行に行員を派遣する等海外ビジネスへのサポート体制を強化しています。

法人ソリューションにつきましては、高齢化の進展に伴いますます社会的要請の高まっている医療・介護分野への事業サポートをはじめ、多くの企業オーナーの方々が関心を寄せられる事業承継対策などにも積極的に取組んでいます。この他「元気企業マッチングフェア」の開催等ビジネスマッチング機会を提供することにより販路拡大などによる業容拡大を支援しています。このように地域金融機関の原点である「地域密着型金融」をより一層推し進めてまいります。

●経営改善支援の取組み

当行は従来からお取引先への経営サポートを地域金融機関の重要な使命の一つととらえ、営業店と専門ノウハウを持った本部「企業サポート室」が連携しながら、お取引先の経営状況をしっかりとモニタリングし経営改善計画等の策定などについて助言や支援を行っています。

平成25年3月末には「中小企業金融円滑化法」（平成21年施行）の期限が到来しましたが当行の金融円滑化にかかる方針は何ら変わることなく、引き続きコンサルティング機能を発揮しお取引先企業の経営改善支援や事業再生を通じて地域経済の活性化に取組んでまいります。

●店舗ネットワークの拡充

当行は新たな拠点の設置など店舗ネットワークの拡充を通じて貸出金・預金および預かり資産の一層の増強を図ってまいります。

中期経営計画において重点戦略地域と位置づけている大阪府下では、昨年9月、東大阪市に「永和支店」「若江岩田支店」の2か店を新築オープンいたしました。また本年4月には、将来の支店化を見据え「城東法人営業室」「北摂法人営業室」を開設し新規お取引先の開拓に精力的な活動を行っています。さらに本年秋には阿倍野区・住吉区等を活動エリアとする「帝塚山支店」を新築オープンさせるなど、今後も引き続き大阪府下において地域に密着した営業を積極的に展開してまいります。

また和歌山県下においては本年6月、和歌山市内の店舗を「和歌山支店」と「和歌山北出張所」の2か店へ拡充しお客さまの利便性の向上および営業基盤の拡充に努めています。

●商品・サービスの充実

投資信託や生命保険などの預かり資産については、豊富な商品ラインナップを取り揃えるとともに相談体制の充実を図るため「<ナント>エルプラザ」(※) や「FA室」などを設置しお客さまの運用ニーズにあった商品を提供しています。

「<ナント>エルプラザ」は平日に加え土・日も夕方5時まで営業しており、お忙しいお客さまにも便利にご相談いただける体制を整えています。昨年4月からは毎週日曜日に税理士による「エルプラザ休日税務相談会」を開催し、完全予約制でゆっくりご相談いただけることから大変ご好評をいただいています。

また「FA室」には高度で専門的な金融知識を持った行員を配置し、資産運用をはじめ相続・事業承継、不動産活用の相談に対し、営業店と連携しながらお客さまのニーズに積極的にお応えしています。

平成26年1月からは「少額投資非課税制度（日本版ISA）愛称NISA（ニーサ）」がスタートしますが、お客さまとの結びつきをさらに強化する機会ととらえ、商品等の充実を図るだけでなく従業員一人ひとりがその能力を磨きご満足いただけるサービスをご提供できるよう努めてまいります。

(※)「<ナント>エルプラザ」についてはP.31をご覧ください。

2.経営資源の効果的な活用

新たな営業拠点網の充実など営業戦略を推し進める一方、当行は経営資源をより効果的に活用するために店舗形態の見直しや営業店事務の効率化に取組んでいます。

本年5月～6月には、お客さま満足の向上とコスト競争力、営業体制の強化を目的に6支店を出張所に変更しました。

また営業店事務の効率化とともにお客さまの待ち時間の短縮を図っていくため、タッチパネル方式の「新端末機」を本年12月までに全店に導入する予定です。

引き続き当行は限られた経営資源を効果的に活用できるようあらゆる施策を講じてまいります。

3.内部管理態勢の充実・強化

当行は中期経営計画の基本方針の一つに「内部管理態勢の充実・強化」を掲げ「コンプライアンス態勢のさらなる充実」および「各リスク管理の高度化・充実」を経営の重要課題としてとらえ、諸施策に取組んでいます。

コンプライアンス（法令等遵守）は、銀行が社会的責任と公共的使命を誠実に果たすうえで基本となるものです。経営陣はもちろんのこと行員全てがコンプライアンス・マインドを高め実効性を伴ったコンプライアンス態勢を構築するよう努めています。

またリスク管理については、リスクとリターンの適切なコントロールを図りながら引き続き各種リスク管理の高度化・充実に取組んでまいります。

4.地域社会への貢献

当行は地域とともに成長する銀行をめざし、中期経営計画の基本方針の一つに「永続的な地域貢献活動の推進」を掲げCSR（企業の社会的責任）に継続的に取組んでいます。社会貢献活動および環境保全活動を柱とし、さまざまな取組みを行っています。

●社会貢献活動

当行は「小さな親切の会」による清掃や献血など公益活動への協力、「公益財団法人南都育英会」による奨学金援助、奈良県内における万葉集ゆかりの史跡をウォーキングする「萬葉チャリティーウォーク」など創立以来地域社会の一員として幅広い社会貢献活動を展開してまいりました。

また当行女子ホッケー部（愛称：南都銀行Shooting Stars（シューティング スターズ））は創部以来30年間奈良県のスポーツ振興に貢献するとともに、地元の学生を対象に「ホッケースクール」を開催するなどホッケーを通じた地域社会との交流にも力を注いでいます。

●環境保全活動

当行は平成14年に環境ISO（ISO14001）の認証を取得し、省エネや紙・ゴミの削減など地道な活動を継続しています。また、創立70周年を記念し平成16年に植樹を行った明日香村の植樹地では毎年行員ボランティアによる下草刈りや追加植樹を実施しています。

平成21年からは奈良県の地場産業である林業およびその関連産業の活性化を通じて森林保全を図る「Yoshino Heart（よしの ハート）プロジェクト」を支援しています。吉野材の利用を促進することで、吉野地区の産業活性化と森林保全に取組んでまいります。

また、近年立ち枯れなど衰退の兆候が目立つ吉野山のシロヤマザクラを守るため設立された「吉野の桜を守る会」の特別会員として各種イベントを支援するほか、環境配慮型金融商品「吉野の桜定期預金」を通じた寄付など「吉野の桜」の保護・育成活動に協力しています。

Ⅲ．最後に

南都銀行は昭和9年、「六十八銀行」「吉野銀行」「八木銀行」「御所銀行」の4つの銀行が合併し誕生しました。創立以来「健全経営」を経営の基本姿勢として着実に歴史を積み重ね、平成26年6月に創立80周年を迎えます。

これまで当行は、地域経済・社会とともに歩みつつ経営体質の強化に向け取組んでまいりました。さらに地元営業エリアにくまなく店舗網を張り巡らし地域に密着した営業活動を行うことにより、地元奈良県においては融資シェアはほぼ5割、預金シェアも高水準を維持するなど確固たる営業基盤を築いてまいりました。

本年、「創立80周年記念事業企画運営委員会」を行内で立ち上げ、この創立80周年という歴史の節目にあたり皆さまへの感謝の気持ちを表したいという思いから現在さまざまな取組みを検討しています。

当行はこれからも皆さまに「信頼され親しまれる魅力的な銀行」をめざし歩んでまいります。どうか皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。